



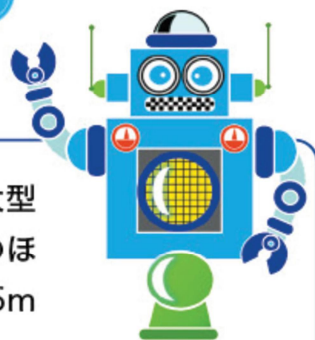
③ 角塚古墳

ピラミッドのような形の大型方墳 おおがたほうふん

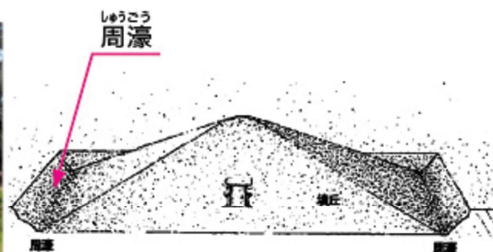
Q1 角塚古墳とは、どんな古墳なの？

A1

7世紀前半ごろにつくられた縦41.7m、横37.8mの大型方墳で、その大きさは県内最大です。古墳の周りには、幅7mのほり(周濠)がめぐり、古墳全体の大きさは、縦48.4m、横44.5mもあります。



現在の角塚古墳



角塚古墳の復元イメージ図

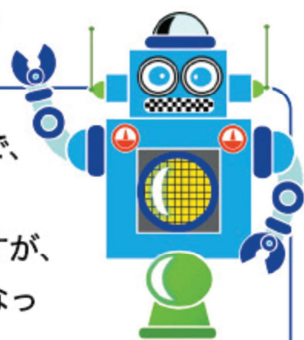


Q2 角塚古墳の石室は、どうなっているの？

A2

石室は、羨道と玄室からできており、全長は約12.5mで、最大高は約2.4mあります。

玄室の規模は、他の二つの古墳と比べると小さくなっていますが、羨道は長くなっています。また、玄室の内部はきれいな箱型になっており、とても大きな石を組み上げて石室をつくっています。



角塚古墳の玄室の入口



角塚古墳の玄室の内部